

## 2015年度日本社会福祉学会関東地域部会研究大会自由研究報告発表 募集要項

### 1. 発表資格

日本社会福祉学会会員及び申請中の者。但し報告者が大学院生の場合は、学会員でなくとも指導教員が学会員であって、かつ承諾を得ていれば発表資格を有することができます。一方、共同研究の場合は、日本社会福祉学会会員および申請中の者でなければなりません。

### 2. 実施要綱

- (1) 研究報告部門（報告20分、質疑応答20分）
- (2) 萌芽的研究報告部門（報告15分、質疑応答5分）
- (3) 実践報告部門（報告15分、質疑応答5分）

### 3. 申込方法

報告希望者は、2016年1月22日（金）までに、上記の報告部門、主題及び副題、所属（正確に）、氏名を明記してE-mailにて応募してください。尚、報告者が大学院生の場合は、指導教員の氏名及び応募の承諾を得た旨を付記してください。

応募先：2015年度日本社会福祉学会関東地域部会研究大会自由研究報告担当丸山晃宛  
E-mail アドレス：maruyama064@toyo.jp 件名に「2015年度関東部会自由研究報告応募」と明記してください。

### 4. 発表要旨原稿の締切

2016年2月14日（月） ※原則、提出後のさしかえを不可とする

### 5. 発表要旨原稿の作成要領 ※原稿は抄録集に掲載されます。

- (1) 要旨の様式 ※各研究部門の様式もご参照下さい。

- ① 用紙サイズ・枚数

研究報告は縦置きA4版用紙に横書きで2枚、萌芽的研究報告及び実践報告は縦置きA4版用紙に横書きで1枚。

- ② 余白：上下左右25mm

- ③ フォント

主題：12ポイントゴシック 副題：10.5ポイントゴシック 所属：9ポイント明朝  
氏名：10ポイント明朝 会員番号：9ポイント明朝 キーワード：9ポイント明朝  
見出し：10ポイントゴシック 本文：9ポイント明朝

(2) 記述内容

a. 報告部門、b. 主題・副題、c. 報告者の所属・氏名・会員番号（申請中の方は申請中と記載して下さい）。会員でない大学院生の場合は指導教員の所属、氏名並びに会員番号を記載してください（萌芽的研究部門の様式を参照）。もしくは所属を複数お持ちの方で複数記載される場合、2か所まで記載してください（実践報告部門の様式を参照）。d. キーワード3つ、e. 研究目的、f. 研究の視点及び方法、g. 倫理的配慮、h. 研究結果、j. 考察。

- ① 要旨の上部枠内に、a. b. c. d を明記してください。c. について共同研究の場合は、発表者全員記載して下さい（主発表者には○をつける）。
  - ② ①の下部に、e. f. g. h. j を記載してください。
  - ③ 本文は「である調」で書いてください。
  - ④ 事例等の記述にあたっては、プライバシーの保護、関係者の承諾等、日本社会福祉学会の「研究倫理指針」に従ってください。人名、地名、職場名、学校名等の固有名詞は使用せず、A県、B市、Cさん、D施設などと表記し、実際のイニシャルは使用しないでください。
  - ⑤ 調査を伴わない文献研究の場合でも、すべての要旨には日本社会福祉学会の「研究倫理指針」を確認の上、配慮の内容（日本社会福祉学会の「研究倫理指針」に基づき配慮したこと）を記載してください。  
([http://www.jssw.jp/society/doc/ethics\\_2011.pdf](http://www.jssw.jp/society/doc/ethics_2011.pdf))
  - ⑥ 参考文献、引用文献を使用する際には、本文の最後に記載して下さい。
- ※ ①～⑥の内容が不十分な原稿は受け付けられません。ご注意ください。

6. その他

- (1) 当日追加資料がある場合、発表者自身で20部を目安に準備いただき、報告当日会場スタッフにお渡し下さい。
- (2) 各発表会場にはパソコンを常設してあります。発表の際には、PowerPointが使用できます。※パソコンの持ち込みは不可です。
- (3) 報告データは、USBフラッシュメモリーでご持参ください。尚、OSはWindowsに限ります。
- (4) レーザーポインター等をご使用になられる場合は、各自ご用意の上、ご持参ください。

申込・原稿の提出等は下記宛てにE-mailでお願い致します。

2015年度日本社会福祉学会関東部会研究大会自由研究報告担当・丸山晃 宛て  
maruyama064@toyo.jp



#### 4. 研究結果—————10pt ゴシック・左端揃

本文:9pt 明朝

#### 5. 考察—————10pt ゴシック・左端揃

本文:9pt 明朝

□ 自由研究報告要旨 様式

主題：12pt ゴシック・中央揃	
副題：10.5pt ゴシック・中央揃	所属：9pt 明朝
萌芽的研究報告部門	
部門：12pt ゴシック	氏名：10. pt 明朝
主 題	
— 副 題 —	
××大学大学院博士後期課程2年 高橋 太郎	
キーワード3つ：9pt 明朝・中央揃	××大学 指導教員氏名 (0000)
[キーワード] 精神保健福祉、専門職、地域生活支援	

1. 研究目的——10pt ゴシック・左端揃  
本文：9pt 明朝

2. 研究の視点および方法——10pt ゴシック・左端揃  
本文：9pt 明朝

3. 倫理的配慮——10pt ゴシック・左端揃  
本文：9pt 明朝

4. 研究結果——10pt ゴシック・左端揃  
本文：9pt 明朝

5. 考察——10pt ゴシック・左端揃  
本文：9pt 明朝

指導教員会員番号：9pt 明朝  
指導教員氏名：10. pt 明朝  
指導教員所属：9pt 明朝

□ 自由研究報告要旨 様式

実践報告部門	主題：12pt ゴシック・中央揃	副題：10.5pt ゴシック・中央揃	所属：9pt 明朝	氏名：10. pt 明朝
部門：12pt ゴシック	主	副	高橋	会員番号：9pt 明朝
キーワード3つ：9pt 明朝・中央揃	—	題	太郎	(0000)
	○○○研究所/××大学大学院修士課程2年			
	〔キーワード〕精神保健福祉、専門職、地域生活支援			

1. 研究目的—————10pt ゴシック・左端揃

本文：9pt 明朝

2. 研究の視点および方法—————10pt ゴシック・左端揃

本文：9pt 明朝

3. 倫理的配慮—————10pt ゴシック・左端揃

本文：9pt 明朝

4. 研究結果—————10pt ゴシック・左端揃

本文：9pt 明朝

5. 考察—————10pt ゴシック・左端揃

本文：9pt 明朝